

会員だより



沖縄都市モノレール唯一のトンネル区間

会員の皆様こんにちは、平成 29 年 9 月の支部だよりで、県内初の鉄軌道トンネル貫通式について、ご紹介しました。あれから 1 年が経ち平成 30 年 9 月 4 日に沖縄都市モノレール(ゆいレール)の浦添延長部分の長さ 4.1km が軌道桁でつながり、那覇空港からてだこ浦西駅までの 19 駅、約 17km が 1 本に結ばれました。その浦添延長部分の浦添消防署前からてだこ浦西駅まで約 600 m が唯一のトンネル区間にあたります。トンネル区間は、開削工事によるボックスカルバート区間と NATM 区間(L=241.5 m)があり、当社(JV)は NATM 区間を担当。周辺は住宅、病院等があり、土被りが小さいうえにトンネルの地表には県道が通っており、まさに都市 NATM による施工でありました。NATM の施工は立坑(H=16.0m)が唯一の外との通路になり、掘削機械の出し入れ及び材料の搬入すべてを立坑を通して行いました。トンネル掘削においては、トンネル工事の影響による周辺地盤の沈下がおこらないよう、トンネル切羽・天端の崩壊防止対策とした補助工法を NATM と併用して施工しました。来年夏に全線が開業すると、この唯一のトンネルを通ったあと、終着駅(てだこ浦

株式会社 國場組 執行役員専務 与那嶺 恵伸

西駅)に到達しここから、自動車道浦西地区に新設されるスマートインターチェンジ、パーク&ライド駐車場にアクセスすることができる計画になっています。これから多くの県民、観光客が利用することで、生活の便利沖縄観光の助けになっていく事と期待致します。



施工・國場組
太名嘉組・國和建設



掘削機械
搬入出状況



軌道トンネル
完成写真

【土木工部部 副参与 山城 智哉】

会員



浦添西原線(港川道路)道路改良工事!

会員の皆様こんにちは、暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。体調管理に十分気をつけながら、元気に頑張りましょう。弊社にて今年6月末に完成しました、浦添西原線(港川道路)道路改良工事について紹介させていただきます。本工事は、国道58号の渋滞解消と沿道環境の改善、浦添北道路と臨港道路浦添線のアクセス強化等を目的として、延長1,550m幅員30m(4車線)のうち暫定2車線の工事でありました。厳しい工期の中、並行して米軍施設のフェンス移設、照明灯移設等の作業を行うため急ピッチで進めました。工事の安全と工程の進捗を図るため、沖縄県、防衛施設局、隣接工区との打ち合わせを密に行い、一般車両・歩行者・近隣商業施設への配慮を第一に考え、隣接工区との施工・安全・環境管理等の協力を行った結果、無事故無災害で暫定2車線供用開始と工期内完成を行うことができました。また寒い中、雨・風に負けず頑張って頂いた工事関

共和産業 株式会社 代表取締役社長 武富 和裕

係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいですが、ありがとうございました。これからも現場が明るく元気で、技術の向上・安全施工に努め、社会の皆様の繁栄に貢献できるように頑張ります。



通学児童の誘導



s-空撮(完成)

【土木課長】
長田 秀樹

活動報告・トピックス



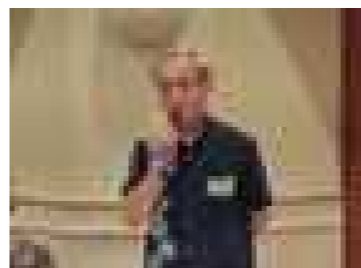
①平成30年度 南・北両国道事務所 と道建協沖縄支部との意見交換会

円滑施工を推進、課題の解決に向け意見交換!

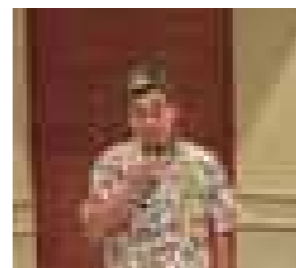
(一社)日本道路建設業協会沖縄支部では、9月7日(金)ザ・ナハテラスで平成30年度南・北両国道事務所と道路建設意見交換会を開催しました。意見交換会には、国道事務所から崎間、小幡両所長をはじめ、副所長、関係課長等19名の出席がありました。道建協からは、会員30社42名が参加しました。与那嶺支部長は「両国道事務所との意見交換は、発注者と施工者が施工実施における問題を解決していく上で、極めて重要であり、支部活動の中でも最重要活動と考えている。国からの時宜を得た指導、助言は必要であり、それぞれの立場から忌憚のない意見交換をお願いしたい」と挨拶しました。意見交換は、「入札及び契約に関する事」「現場施工上の問題に関する事」「安全管理上の問題・要望」「積算上の問題・疑問に関する事」「その他」の6課題16項目について行いました。



開催の挨拶をする与那嶺支部長



北部国道事務所
崎間所長の挨拶



南部国道事務所
小幡所長の挨拶

今月の予定

- ①第3回技術・積算委員会 支部会議室
10月9日(火) 11:00 ~ 13:00
- ②第2回常任幹事会 支部会議室
10月30日(火) 12:00 ~ 13:30

入札契約や週休2日制推進に向けた取組では、道建協から第三者品質証明について、「元請けの受注額に対して、品質証明員の下請け見積額が高くその差が大きい」など現場の現状を紹介し「第三者による品質証明は国道事務所からの直接発注でもよいのではないか」と問題を提起した。国道事務所からは、「第三者による品質証明員制度の契約体系はガイドラインで示されているため沖縄独自の対応は難しい」と述べつつ「意見は本局へ伝えたい」と回答した。週休2日の取組には、提出資料が膨大であることから書類の簡素化や提出期限の配慮を求めた。国道事務所側は過度な負担にならないよう徹底していきたい。そのためには監督職員と施工業者のコミュニケーションが大事と回答した。他にも、支部からは業界の実情を踏まえた発言があるなど、最後まで活発な意見が交わされ閉会となりました。意見交換会終了後に懇談会が行われ、会員各位と懇親を深めながら懇談会は盛会のうちに終了しました。なお、懇談会に先立ち、日本道路協会道路功労者表彰の伝達式が行われ、平成30年度の道路功労者として上間尚輝氏(琉球開発(株))に表彰状と記念品が授与されました。



活発に意見交換を行う会場全景



②第145回 道路美化・清掃活動

第145回道路美化ボランティア活動を9月18日(火)に12社19名の参加で実施しました。日々、秋めいてきましたが、まだまだ残暑が厳しい毎日です。これからも体調管理に気を付けて会員の協力の下、ボランティア活動を継続したいと思います。よろしくお願いします。

